



# 議会だより

第 133 号 平成25年 6 月 5 日発行



福寿草まつり（下中津川）

## 平成25年 第 1 回定例会より

3月定例会は、3月8日から13日まで開催され、昭和村小野川生涯学習センター条例や副村長の選任、平成25年度当初予算など38件を原案のとおり可決承認しました。

一般質問は、9人の議員が17項目について村長の考えをたきました。

- 村長の施政方針……………2ページ
- 一般質問……………3ページ
- 議案審議ほか……………12ページ

平成25年

# 第1回定例会より

## 村長の 施政方針

### 平成二十五年度 予算編成の基本方針と施策の概要

一般会計予算及び七つ

の特別会計予算は、国の

予算編成における基本的

な考え方や実質公債費比

率や経常収支比率等の財

政指標を考慮しながら特

別会計への繰出金、老朽

施設の修繕管理費、観光

交流人口の増加対策とし

ての施設整備等にも十分

配慮し、事務事業の見直

しや経常経費の削減に努

めながら財源の効率的な

配分と有効な活用で村民

に密着した事業や必要性

の高い事業等への重点配

分に努め編成しました。

### 村政執行の基本的 な考え方と主要な 施策の概要

#### ①みんなが主役の協働の 村づくり

・各年代層との懇談会や  
地域づくり懇談会を開催  
したり、集落活性化のため  
地域づくり応援事業を  
継続します。

・集落支援員や地域おこ  
し協力隊による地域の活  
性化、定住化促進に努め、  
協働の村づくりを推進し

ます。

・事務事業の見直しや定

員管理の適正化で安定し

た行財政運営を進めます。

・消防事業やごみ処理、

介護保険審査会、電子計

算機など効率的で効果的

な広域連携を推進します。

#### ②安心して暮らせる健康 福祉の村づくり

・特別養護老人ホーム昭  
和ホーム増床工事に向け  
て設計や用地購入を行い、  
新たな社会福祉法人の早

急な設立をめざします。

・社会福祉協議会や民生

児童委員協議会等と連携

し高齢者福祉の充実に取

り組みます。

・特定健診の受診率向上

対策や保健事業、健康教

室等を開催します。

・ゼロ歳から十八歳まで

の子ども医療費無料化を

実施します。

・保育所に臨時保育士を

配置し一歳児からの受け

入れに対応します。

#### ③人と文化が息づく教育 文化の村づくり

・小学校に複式学級支援

講師二名、小中学校に特

別支援教育支援員を一名

ずつ配置します。

・小中学校トイレを洋式

に改修します。

・中学校の学習用パソコ

ンを更新します。

・昭和学講座を開設し小

中学校の副読本「わたし

たちの郷土昭和村」の編

集作業に着手します。

・からむし工芸博物館は

村の歴史や風土に根ざし

た文化財の展示公開に力

を入れます。

・矢ノ原湿原の植物の植

生調査や報告書を作成し

ます。

#### ④活力を育む産業の村づ くり

・からむし織体験生制度  
二十周年記念事業を開催  
します。

・ソバの放射性物質吸収

抑制対策として塩化カリ

を配付します。

・菌茸等も含めた農産物

の安全安心PRや土壌等

の検査を実施します。

・経営所得安定対策の取

り組み推進を図ります。

・ケイ酸加里散布の基礎

技術を指導して昭和産米

から放射性セシウムを出

さない取り組みをします。

・産地直送販売事業につ

いては栽培研修会や関東

圏でのPRなど技術向上

と販売促進を図ります。

・カメムシと野鼠駆除の

対策を継続します。

・福島県果物価格安定

制度の活用及び産地生産

力強化総合支援事業等に

より宿根カスミソウ農家

の支援と花き振興に努め

ます。

・宿根カスミソウ栽培三

十周年事業で消費者向け

プロモーション活動や補

助事業を実施します。

・担い手対策として生産

組織等が地域営農継続に

取り進む場合の機械整備

経費を支援します。

・新規就農者確保事業補

助金を活用し就農者の募

集と定住を促進します。

・村内宿泊業者の支援事

業を継続します。

・復興をテーマにした「か

らむし織の里フェア」や「か

らむし織の里雪まつり」

の開催、観光交流受入体

制整備事業、矢ノ原遊歩

道改修、昭和村公式マス

コットキャラクターの活用

で風評被害払拭と交流人

口の回復増加に努めます。

・プレミアム商品券発行

補助事業を継続します。

・緊急雇用創出基金を活

用して観光交流分野や介

護分野、農業分野での就

労機会の創出と雇用の場

を創出します。

・温泉交流棟新築工事や

各種備品等の整備を進め

ます。

#### ⑤みんなが集まる生活基 盤づくり

・小野川と大芦住民のため  
公共交通機関連絡送迎  
車の運行見直しを進めま

す。

・自然災害に備えるため

土砂災害防災訓練や防災

無線デジタル化更新事業

に着手します。

・国道四〇〇号未改良区

間の整備促進を強力に推

進します。

・国道四〇一号博士峠ト

ンネル化の早期実現に向

けた取り組みをします。

・生活に密着した村道整

備促進に取り組みます。

#### ⑥快適でゆとりある生活 環境づくり

・ゴミ分別収集の徹底と  
減量化を図り不法投棄防  
止対策にも取り組みます。

・大芦地区の下水道は利

用促進が図られるよう努

力します。

・公的賃貸住宅整備事業

に着手します。今年度は

実施設計並びに地質調査

を行います。

・堰や水路等の農業用施

設の修繕は引き続き集落

と協議しながら改修に努

めます。

# 平成25年 第1回定例会より

## 一般質問



《栗城敏郎 議員》

### 昭和村南会津町生活バスの 冬期間運行を問う

**問** ①昭和村南会津町生活バスの通年運行の検討について、その後の進捗状況について伺う。  
②冬期間のバスを運行する場合は、安全が優先されなければならぬ。利用客数や安全面からも四駆のワゴン車クラスがよいと考えるが、冬期間運行する場合の具体的な問題点や課題を伺う。  
③第四回定例会で、昭和村南会津町生活バスと公共交通連絡車の関係で両原大芦間の運行改善について質問したが、この春からの対応を伺う。

### 利用者の意向を調査し課題、問題点を 整理、検討を深めていく 【村長】

**答** ①利用者の動向を検証し冬期運行の課題等を伺います。  
②降雪時の安全確保がままず第一であると考えています。あわせて、必要に応じて四輪駆動車の確保な

どを考慮するとともに、運行本数、時間などの検討も要するものと思っています。利用される方々の意向をよく調査し、通年運行に向けての課題、問題点を整理、検討してまいります。

③大芦小野川方面に運行している連絡車は四月から利用者の利便性を考慮し、現行の田島発午前時間を午後二時十分発に変更し、各方面週一回の運行とするなどの運行方法の見直しをしたいと考えています。

### 里山公園 構想とは

**問** ①村営スキー場跡地の再利用としてのふるさと森林公園構想とは。  
②昭和村森林環境基金の具体的な運用計画、事業

内容について伺う。

③からむし織の里の大規模な景観整備は行わず、森林環境基金はスキー場跡地の整備事業に重点を置き、心の安らぎをもたらす魅力的な里山公園として整備すべきと考えが見解を伺う。  
④しらかば荘のリニューアルオープンに合わせスキー場跡地等の観光開発事業に積極的に取り組むべきと考えるが。

### 癒しの空間的な 活用を目指す 【教育長】

**答** ①事業の名称は、森林ふれあい公園整備事業と言います。癒やしの空間的な活用を目指し、平成二十二年、二十四年に山桜等の苗木を中学校と小学校の児童生徒で植樹してもらいました。  
今後、木製ベ

ンチの設置、わらび園や、遊歩道の構想も検討してより多くの村民が参加できるような形で進めたいと考えています。

### わらび園の 活用も 【村長】

②この基金は森林を守り育てる意識の醸成や、森林整備による森林環境の保全に資する事業に要する経費に充てるための基金であります。  
二十六年中に実施事業を確定し、二十七年に基金を活用することとしています。  
③からむし織りの里の修景整備は国県補助金を活用する計画です。スキー場跡地は憩いの里山としての活用と、わらび園での活用の二方面から開発したいと考えています。  
④今後三年、五年を通して各種交付金などを活用し開発していきたいと考えています。

平成25年

# 第1回定例会より

## 一般質問



《馬場栄三 議員》

### 第三セクターの監督指導は

問 ①有限会社グリーンファームは、過去に刈り取り料金引き上げや農地賃借料引き下げをした経過がある。筆頭株主である行政は、どのような監督指導をしているのか伺う。

答 ②有限会社グリーンファームの株主総会で、村は役員報酬に同意したのか。

また、それについて意見をされたか伺う。  
③第三セクターが株主配当をすることは適さないと思うが、村長の考えは。

### 地域の抛り所となるよう指導している

【村長】

問 ①昭和村小作料等協会の農作業標準賃金を適用するよう指導した経緯があります。

また、農地賃借料は農業委員会が貸し借りの目

安となるよう、借り賃の動きについて、実際に支払われている賃借料の情報と農地賃借料情報として提供しています。

答 ① 今後も引き続き地域の抛り所となるよう指導してまいります。

② 役員報酬に関しての案件については現在の所は保留の状態にしています。

### 新しらかば荘の開業までのスケジュールは

問 完成まで残すところ一年数カ月だが、運営事業者の決定及び組織体制、広報活動等、どのようなスケジュールで実施するのか。

早期に指定管理者を決めてソフト部門の強化を図りながらオープンに備える

【村長】

答 二十五年年度早々に公募により指定管理者を決定したいと考えています。新年度予算に計上している観光交流人口受入強化支援委託業務を活用し

③ 農業法人に限らず、出資を募っている会社は原則的に利益が出た場合は配当をするものとの認識

です。  
村は出資はしていますが、配当は辞退しているところですが。

### 源泉の湯量は問題ないか

問 新しらかば荘は、内湯、露天風呂が計画されており、村民憩いの湯も含めて湯量が大変心配になるが問題ないのか。

答 新しらかば荘は、内湯、露天風呂が計画されており、村民憩いの湯も含めて湯量が大変心配になるが問題ないのか。

現在の湯量で問題ない 【村長】

問 現在、源泉の湯量は毎分九十リットル程度流出しています。遊離二酸化炭素の分離によるガス対策で設置予定の循環ポンプの効果を検討すると、現在の湯量で問題ないと思っています。年間を通して湯量の変化を見きわめながら、万全を期してまいります。



平成25年

# 第1回定例会より

一般質問



《馬場政之 議員》

## 白色申告者の記帳や帳簿の保存に対する行政の対応は

問 平成二十六年から、事業所得や不動産所得がある全ての人は、売上金や経費を記帳しその帳簿を保存する義務が生ずることになる。野菜の産直出荷をしている人も対象になり、記帳が面倒で生産者が減少しないか大変心配している。行政も農協等と連携し記帳指導をして、安心して申告と農業に取り組めるよう方策を講じてほしい。

## 不安がないよう勉強会等を開催する

【村長】

答 産直事業は大きな所得にはなっていないので、貴重な収入源であるが、貴重な収入源であるので、出荷者が減少しないようJA会津みどり昭和総合支店営農経済課並びに昭和村農業青色申告会で勉強会等を開催するなど、お互いに連携しながら進めていきたいと考えています。

## 観光推進に 対する所信は

問 ①新しらかば荘も着工し、博士峠トンネル化の早期着工の期待が膨らむこの機会に、村の活性化のため観光の推進に積極的に取り組むべきである。

答 村に観光推進専門窓口を設け、担当職員を配置し、識見を有する方をメンバーとする協議会を設置することを提案するが村長はどう考えるか。  
②現在、昭和村観光協会は職員も不在で、弱体化している状態だ。昭和村がどのように活発化していくか心配である。

## 昭和村に賑わいを 取り戻す

【村長】

問 ①ご指摘のように、観光部門の充実が重要な

課題であると思っております。

しかしながら、職員採用や定員管理計画の関係もあり実現できなかったのですが、重要性は十分に認識していますので、貴重なご提言を踏まえ検討させていただきます。

②現在、職員が欠員になつている状態ですが、充  
足できるように、これから人員の配置も含めながら観光推進に努めてまいります。  
私が進めている新しらかば荘の開発も、交流人口を拡大して昭和村に賑わいを戻そうという一環であり、なお力を入れながら進めていきますからご理解願います。



# 平成25年 第1回定例会より

## 一般質問



《渡部長治 議員》

### 副村長の人選は

**問** ①新年度も県からお出でいただくようだが、この場合、給与の他に様々な経費が必要になるが、村長はどのような考えで県にお願いするのか。  
②今までの副村長は村長の補佐という感じが薄れていた気がする。  
県とのパイプ役としてもう少し外に出てもらったら良いと思うが今後の村長の考えは。  
③四月の着任には間に合うのかお尋ねしたい。



### 本村の発展を考えると人選した「村長」

**答** ①県から副村長を迎えて活躍していただくことが昭和村の発展につながるものと考えて県からの人選にしたわけでございます。  
②私が適当だというときには出張を命令する場面もありますし、首長が出席したほうが効果がある場合もありますので、臨機応変にやってきたつもりです。  
今後と同じような考えで行政を執行したいと考えています。  
③四月一日からの着任、任期となる予定です。

### 指定管理施設の大規模修繕は

**問** ①指定管理施設の大規模修繕は、村が実施するはずだが、実施していない施設がある。  
村長の考えを伺いたい。  
②村は施設の劣化状況箇所の点検・調査は随時やっているのか。  
③野尻体育館の屋根など、早急に修繕しなければならぬ施設が存在する。

今後施設の大規模修繕はどのように対応する予定か。

### 基金を活用し適切に「村長」

**答** ①大規模な修繕は、これまでも村の責任において実施してきたところであり、今後も同様なお考え方で行ってまいります。  
②施設で大規模な修繕を

要する場合は、管理者から報告があるものとの認識から、村としては定期的な点検や調査は実施し

ていませんでした。  
③今後の指定管理施設の修繕は、施設の劣化状況や修繕費用、緊急性等を考慮し、昭和村公共施設等維持管理基金を有効活用しながら適切に行ってまいります。



# 平成25年 第1回定例会より

## 一般質問



《菅家敏章 議員》

### 屋根融雪システム設置に 補助制度を

問 近隣の只見町では、屋根融雪システム設置に関して補助金を出しているようだが、高齢化が著しい昭和村こそ補助金を出し、安全・安心で住める村づくりをしなくてはならないと考える。ぜひ、補助金制度を創設して、雪対策をすべきと思うが村長の考えを伺う。

### ふるさと定住化促進条例で検討したい 【村長】

答 克雪対策は毎年大きな課題となっています。

ご質問の屋根の融雪システムは本村でも既に設置している家庭もあり、これからの雪対策の一つとして関心を持っています。

現在も、ふるさと定住化促進条例により、高齢者の克雪対策として除排雪設備に対する援助金制度を設けております。ご提案の屋根融雪システムについても本条例の運用の中で設置費用や維持管理費、耐用年数などを調査するとともに、村民の方々の意向を踏まえながら、秋までには検討したいと考えています。

### 新しい「しらかば荘」の オープン準備は

問 ①新しらかば荘の開設備事業の委託先とその内容は。  
②村長は、新しいしらかば荘をどのようにしたいのか伺いたい。



### 誘客へ向けソフト 部門強化を図る 【村長】

答 ①委託業務は、人材確保育成事業

を初め、料理の研究開発、各種ツアー等の商品開発、顧客管理システム導入、広告事業などが主な内容です。委託先は指定管理者制度により行う予定であり、公募方式等により前倒しで指定管理者を決定し業務委託したいと考えています。

②新しらかば

荘は、本村の観光交流の拠点づくりを目的とした事業です。四季を通じた観光ツアーなどの商品開発と、料理、接遇など人材育成の徹底などソフト面を充実させ、より多くのお客様に喜んでいただけるような施設づくりをしたいと考えています。



平成25年

# 第1回定例会より

一般質問



《菅家一博議員》

## 村職員給与は 削減すべきでない

問 ①昭和村職員の給与は、会津地方の市町村では一番低いというのが現状である。職員は通常の事務はもちろんのこと、イベント、災害等において一人何役もこなしている状況である。給与を引き下げれば、職員の意欲をそいで、住民サービスにも影響を及ぼす恐れも出てくるのではないか。村長はどのように考えているのか伺う。

答 ②ラスパイレス指数は福島県で下から三番目の状況である。一人何役も兼ね、イベント等では駐車場から、交通整理、進行など、あらゆることで職員に特段の力を出してもらっている状況を考えたときに、村長は他の町村から比べれば一ポイントでも下げ幅を低くするというような決断をすべきではないのか。

## 財政事情を考慮し福島県や近隣町村の 動向を踏まえ検討する 【村長】

問 ①地方公務員の給与 給与削減額支給措置を踏  
については、国家公務員 まえ、各地方公共団体に

において速やかに国に準じて必要な措置を講じるよう要請されたところであります。その後、政府予算案決定に際し、施行時期を七月とすることが示されましたが、各地方公共団体における具体的な動きはない現状であります。

本村職員の給与は、福島県人事委員会勧告による県職員の給与改定に準じて行っている経緯もあることから、今後の県や隣接町村の動向を踏まえながら検討してまいります。

②職員の負担に関しては重々認識しているところでありますが、村の財政事情や人口の面から考えて、様々な制約があることはご承知おき願います。



## 鳥獣被害対策実施隊への 協力体制は

問 本年度はツキノワグマによる農作物の被害が甚大であり、かつてないほどの捕獲数であった。今後、隊員がさらに高齢化すれば、地域の方々の協力が不可欠となってくるので、講習会等を開催し実施隊に協力していただけるような体制づくりが必要となってくると思うが、村長の考えを伺う。

## 村単独で講習が 可能か検討する 【村長】

答 鳥獣保護法に基づく基本指針が改正され、狩猟免許を持たない人であっても講習を受ければ免許所持者の監督のもとで、わなによる有害鳥獣







五十嵐勝 議員

下水道の加入  
促進の方策は

問 ①大芦地区は、下水道整備の要望があった当初の時点と状況が変わっているが、村はどの程度現状を把握しているのか。  
②上昭和地区、下昭和地区ともに振興計画では加入促進を図ると記載されているが、どのような推進をしてきたのか伺う。  
③加入率を高めるためには、供用開始後三年を経過した場合でもそれなりの奨励措置が必要ではないのか。  
④福祉政策、定住化促進政策の一環として、下水道料金は現状を維持すべきではないのか。

⑤大芦地区内の下水道はポンプアップの箇所が何か所かあるが、停電時の体制はとれているのか。

推進委員会と共に  
推進を図る【村長】

答 ①当初と比較して高齢者のひとり暮らし世帯や二人暮らし世帯が増加していることは承知しています。

②昭和村下水道事業に係る排水設備工事費補助金及び昭和村水洗便所改造資金融資斡旋時規則を設け、利用者へ便宜を図り、地区下水道整備推進委員会とともに積極的に加入を推進しているところで  
③供用開始後三年を過ぎ

た場合の制度は考えていません。

④昭和村上下水道事業審議会での議論では、維持管理費に対し一定の負担が必要であるとのことでありました。

大幅な値上げにより大きな負担になることは避けなければならぬと考えています。

一定の負担がどの程度であればよいのか等について検討してまいります。

⑤平成二十五年度にも可搬式発電機を整備します。

また、停電回避のため、南会津方面から電力線を引き込むなど努力しておりますが、万が一停電となった際には、発電機を移動させながら住民生活に大きな支障が出ないよう対応します。

行政の広域連携が重要では

問 ①広域的な事務事業の共同処理など、村長が今考えていることをお聞きしたい。

②広域連携の課題は研究しているのか。

また、広域化を進める計画はあるのか。

③近隣自治体の金山町、三島町等を想定した行政の連携が図れる要素はないのか。

④金山町と、行政の人事交流等を考えるべきではないのか。

さまざまな分野に  
おける連携を模索する【村長】

答 ①自治体の財政悪化、過疎少子高齢化、生活圏の拡大など、一つの自治体で担うことが難しくなってきたおり、行政サービスの充実を図る上からも広域連携の推進が大変重要だと考えています。

②奥会津五町村活性化協議会で協議はしているところですが、平成二十五年度は、JR只見線の再開通を重点的に取り組むところです。それに伴い、南会津町等も含めながら観光の広域化ができないか検討しているところで  
徐々に的確に対応していきたいと思っております。  
③少子高齢化、若者の雇用、定住化対策等、共通の課題を抱える隣接町村とも各種の事務事業や分野における連携を模索してまいります。  
④隣接町村との職員の人事交流は確かに良いかと思いますが、目的を定めながら施策に入っていくということが大事だと思います。県や国との人事交流も模索するべきかと思いますが、今すぐにと  
いうことはなかなか厳しかと思っております。

# 平成25年 第1回定例会より

## 一般質問



《東原源伯 議員》

### 矢ノ原湿原の植物の 保護管理の考え方は

問 ①保護管理は、教育委員会が担当している。しかし、湿原周辺の草刈り等は産業係が担当している。湿原植物の保護管理の具体策を伺う。  
②草刈りのときに貴重なミズゴケが傷んでしまうが、作業員に注意をしているか。  
③湿原遊歩道の木道修理の工事手法を具体的に示せ。



### 保護と観光の両面 から進める

【教育長】

答 ①教育委員会と産業建設課産業係及び関連する部署が緊密に連携をとりながら保護管理と観光振興の両面から計画を練っていききたいと思います。

②作業員も重要性は重々承知していますので、関連する部署が緊密に連携をとりながら対処してまいります。

### 植物の保護に配慮 して実施する

【村長】

③測量設計業務委託にあたり植物等の保護に配慮するよう指示する考えです。工事施工にあたっては湿原の植物に配慮する工夫をしたいと考えています。

### AEDの配備状況と 取扱者の訓練状況は

問 ①本村の公共施設におけるAEDの配備状況について伺う。  
②事故が発生した場合にその施設の職員が使えるのか。訓練は実施しているのか。

### 八施設に配備し 講習を受けている

【村長】

答 ①後も定期的に行っていくつもりです。また、消防署では万が一、その現場に居合わせた場合、誰もが対応ができるよう、消防団員やPTAの会員、NPO 苧麻倶楽部、JA 会津みどり、昭和ホーム、森林事務所などの各職員を対象とした講習会も開催しています。

答 ①すみれ荘、役場、公民館、しらかば荘、織姫交流館、小学校、中学校、保育所の八施設へ一台ずつ配備しています。

②各施設とも消防士の指導で職員を対象とした講習会を開催しており、救急車が到着するまでの間、適切な救命措置ができる事業所として認定されています。講習会は今





菅家勝 議員

村の有形・無形文化財の保存方法は

問 ①村内には今後途絶えてしまいそうな有形、無形の文化財が数多くある。それらを後々に残し伝えていくことが肝要だが、その保存方法は。
②村で収集した昔の生活道具や農具等の民俗資料の、今後の保存と閲覧、展示の方法は。
③村民が個人的に歴史や民謡等を本として綴られた方もいます。それらの保存はどのように考えているのか。
④昔から謡曲や民謡、昔話など伝えられた文化があるが、これらをCDやDVDなどに保存し、誰もが視聴できる体制をとり、後に伝えるべきと考えるが。
⑤村の記録映画も数多く保管されているが、DVD等の電子機器に保存して、誰でも簡単に視聴できるようにすべきでは。
⑥村民の所有する8ミリ映像や貴重な動画など、村として貸借関係を結んで保存し、誰もが視聴できるようにならないのか。

よりよい保存方法を探っていききたい

【教育長】

答 ①第一に、保存の重要性を認識できる人材の確保と育成を継続して行えるようにすること。
第二に、有形無形の何が存在しどこに収蔵されているかわかるようにすること。
第三に、紛失や盗難の事実を確認できるようにすること。
第四に、多様な質問に効果的に答えることができるようにすること。
第五に、データベース化して情報検索が容易にできるようにすること。
第六に、展示、広報、出版活動を援助することができるようにすること。
第七に、管理下にある資料の保全を援助することができるようになること。
第八に、法的な所有権を明確にし証明できるようにすること。
第九に、保存のための現状把握と課題の洗い出しができるようにすること。
第十に、関連する諸機関と共同作業をしたり、連携したりすることができるとともに、以上ことを踏まえ、文化財のよりよい保存方法を探っていききたいと考えています。
②収納場所の問題や優先順位もあつて、どこにどのような形で保管するか、なかなか結論を出せないでいます。すぐに解決できる状況にはないため、時間をかけて検討していきたいと思います。
③著作物の内容や表現を吟味した上で、保存すべき価値があると判断される場合は収集し、村民が読むことができるよう工夫していきたいと思います。村民が著作物を出版することを奨励し、広く紹介して、知的文化、民俗文化の薫りが漂う地域づくりに貢献できるように努力していきたいと考えています。
④貴重な文化遺産であると認識しています。今記録しておかなければ、後世には伝わらなくなってしまうであろうと危惧されるものもあります。CDやDVD、電子媒体、紙媒体を問わず、どのような形で残すべきか検討していきたいと思えます。
⑤記録映画や映像、写真などについても、技術的な方法論も踏まえながら検討していきたいと思えますが、人と技術と時間と予算が絡むことから、地道に取り組んでいきたいと考えています。
⑥極めて重要な価値ある作業であると認識していますので、今後、様々な角度から検討したり、情報を得たりしながら前向きに取り組みたいと思えます。

